

8月 保育園だより

平成27年7月31日 川辺町第二保育園

梅雨に入った途端に雨続きの日々。今年はプール開きも遅れてしまいました。しかし、梅雨も明け、これから暑さはどんどん厳しくなってきます。「あついね〜。」「あ〜、プール入りた〜い。」子ども達は水遊びが大好き。遊びながらもそれぞれの目標に向かって取り組んでいる毎日です。午後からは午睡でゆっくりと体を休めています。夏の暑さももうひとふんばり。そろそろ夏の疲れが出てくるころです。毎日の生活リズムを正しくして、すっきりと次の季節を迎えられるようにしたいですね。



お知らせ

☆服装について
8月後半より運動会の練習が始まります。ズボンでの登園をお願いします。スカート・ワンピースでの登園は避けてください。ご協力お願いします。

☆午睡について
午睡は28日(金)までです。

☆ゴムぞうり・裸足保育終了について
ゴムぞうりでの登園は28日(金)までとします。8月31日(月)より運動靴登園とします。同時に室内では上靴を使用します。28日に上靴を持ち帰りますので、サイズを確認の上、持たせて下さい。

☆プール大会について
28日(金)はプール大会です。年少・中・長はBGプールにて行います。

☆運動会に向けて【うちわを持ってきてください】



運動会オープニングでうちわを使います。一人ひとつ持ってきてください。

8月の予定

- 3日(月) 身体測定、交通安全
- 4日(火) 青空給食
手話による読み聞かせ
- 20日(木) 誕生日会
- 27日(木) 避難訓練
- 28日(金) プール大会
- 31日(月) 体操教室

BGプール 6日(木)、19日(水)
26日(水)、28日(金)

たてわり保育
7月27日(月)～8月28日(金)

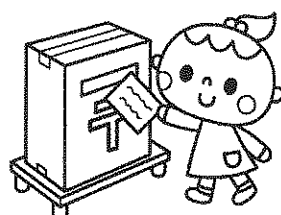
以上児2クラスで保育を行います。未満児は変わりません。クラス名簿を貼り出しますので、部屋の確認をし、布団設置のご協力をお願いします。

絵本の貸し出しについて
8月末まで絵本の貸し出しはありません

夏野菜の収穫をしています

各クラスで育てている夏野菜が、毎日のように収穫できています。収穫した野菜は給食室で調理していただきます。そのままの状態が出てきたり、サラダの中に入っていたり、揚げたり炒めたりと、その調理方法は様々です。「これみんなでとったきゅうりだよね。」「おいしい!」とぱくぱく食べる子ども達。「家では本当に嫌がって野菜は口にしないんです…」という保護者の声もよく聞かれます。みんなで育てた野菜は愛おしく、美味しい!!これぞ、食育ですね。

暑中見舞いのハガキを 買いに行ったよ!



7月14日(火)に年中・年長で暑中見舞いのハガキを買いに麻生郵便局へ行ってきました。「しょちゅうみまいのはがきください。」と、手にしている52円を渡し、「ありがとうございます。」と大きな声でやりとりをする子ども達。購入した後は、友達とはがきを見せあいとても嬉しそうな表情でした。園ではがきに絵や文字を書き、後日投函します。

夏に流行する病気の紹介です

《プール熱(咽頭結膜熱)》
39℃の高熱が4～5日続く。目やに、目の充血がある。頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともある。咳が出て、のどが赤くはれて痛む。
★タオルの共有は避け、感染者のタオルは熱湯消毒後洗濯する。水分補給は十分にし、口当たりのよい食べ物を与える。

《ヘルパンギーナ》
39℃前後の高熱。水分補給を嫌がり、脱水症状を起こすこともある。のどに小さな赤い水疱ができ、のどが痛むため、食欲が落ちる。
★のどの痛みがあるため、熱い物、冷たすぎる物、酸味のある物、塩気のきつい物など刺激の強い物は避ける。しっかりと水分補給する。

《はやり目(流行性角結膜炎)》
目が充血し、目が開けられないほどはれ、涙が出る。炎症が結膜だけでなく、角膜まで及ぶ。耳前リンパ節がはれて熱が出ることもある。まぶたの裏に小さなブツブツができる。
★目を触らせないように注意し、せっけんでしっかり手を洗う。目にふれる物の共有は避ける。

なつまつり・ご参加ありがとうございました

台風接近で当日の開催が心配されましたが、無事に夏まつりを開催することができました。室内での夏まつりにはなってしまいましたが、子ども達、ご家族同士の楽しそうな姿がたくさん見られました。今年新しい夜の展覧『めいろ』が大盛況でした。入り口から面白いしかけがあり、「あれっ!?!」「こっちゃんないよ。」と笑いの声が上がっていました。当日まで、様々な準備、打ち合わせを重ねてくださった役員の皆様、本当にありがとうございました。そして、多くの皆様のご参加、ありがとうございました。

つぶやき「ごっこあそび」

子ども達が、何かになったつもりで模倣してあそぶ「ごっこあそび」。
「家族ごっこ」「病院ごっこ」「保育園ごっこ」いろいろなごっこ遊びが展開されています。

A:「風邪引いてるんだから、寝ててね。」
B:「ご飯食べたら、薬飲んでね。」
3人でお医者さんと看護師と患者になりきって遊んでいる様子。
保:「入院かな?じゃあ、お見舞いにいかなくっちゃ!」
C:「私もお見舞い行く!」
保:「皆で行こうか。」
子:「行く~」「お見舞いにこれ持って行く!」
皆で寝ている子を囲み、ごっこ遊びが広がっていった。

子どもたちのかかわりが深まり、言葉のやりとりを楽しみながら遊べるようになってきた年少児。ちょっとした大人の一言で遊びが膨らむこともあります。

身近な人の生活を真似ることから、様々な職業に関連するもの、空想次第で様々なものに変身して楽しむことができるようになります。子どもたちの感性は本当に豊かですね。